

水循環再生地域協議会

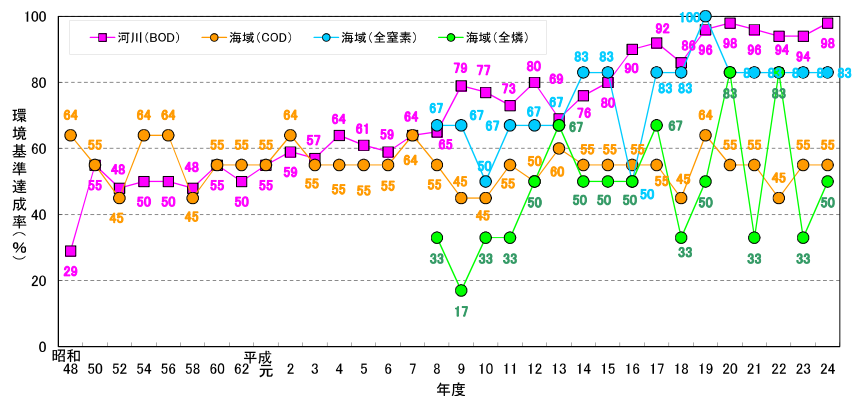
情報提供

三河湾の環境再生について

1 三河湾の現状

- (1) 水質環境基準の達成率
- (2) 赤潮・貧酸素水塊・苦潮の状況
- (3) 干潟の状況
- (4) 藻場の状況
- (5) 水産業の状況
- (6) 県政世論調査
(三河湾の環境再生について)

(1) 水質環境基準の達成率



(注) 達成率(%)=(達成水域数)÷(総水域数)×100

<達成率の長期的な推移>

- ・ 河川のBODは改善傾向(ここ数年間は90%以上を維持)
- ・ 海域はいずれの項目も横ばい

3

(2) 赤潮・貧酸素水塊・苦潮の状況



赤潮

プランクトンが異常に増殖し、海水の色が赤色や褐色に変色する現象。海底付近の溶存酸素濃度が低下した水塊(貧酸素水塊)を発生させる原因になる。



苦潮(青潮)

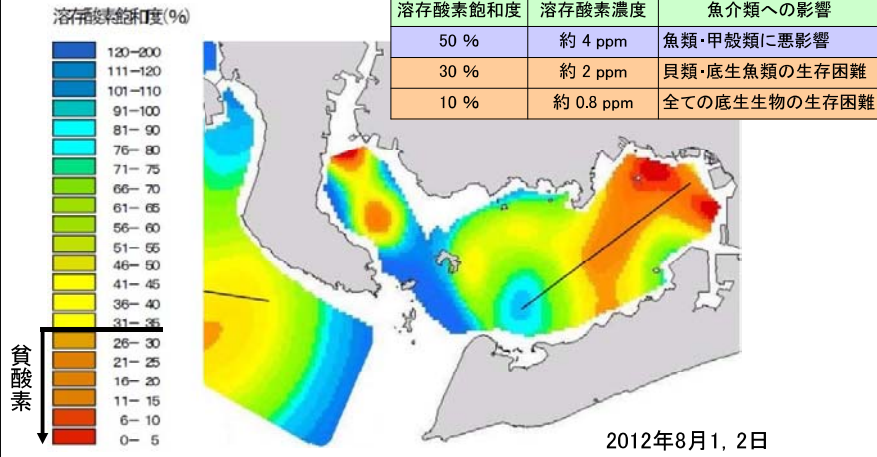
海底付近の貧酸素水塊が、強い風などにより表層に湧き上がり、海面が青色に変色したり白濁する現象。硫化水素などの有害物質を含むことがあり、魚や貝の大量死など大被害をもたらすことがある。

4

貧酸素水塊

魚介類が生存できないくらいに海底付近の、溶存酸素濃度が低下した水の塊

県水産試験場では、30%以下の水域を貧酸素水塊と定義

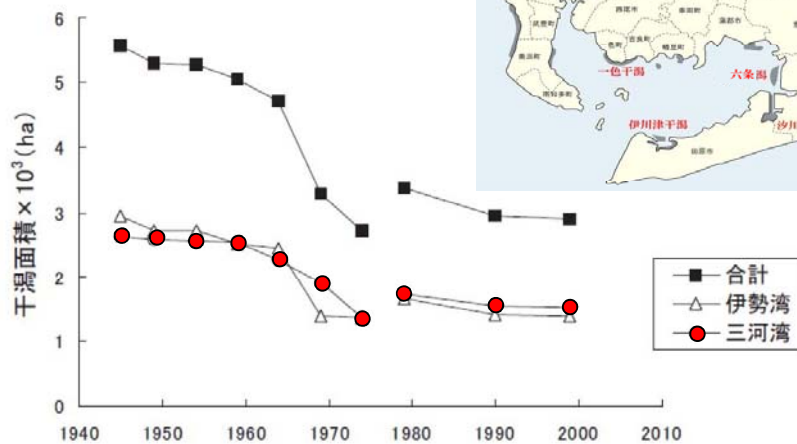


出典：伊勢湾三河貧酸素情報(H24-7号) (愛知県水産試験場)

5

(3) 干潟の状況

干潟面積の推移

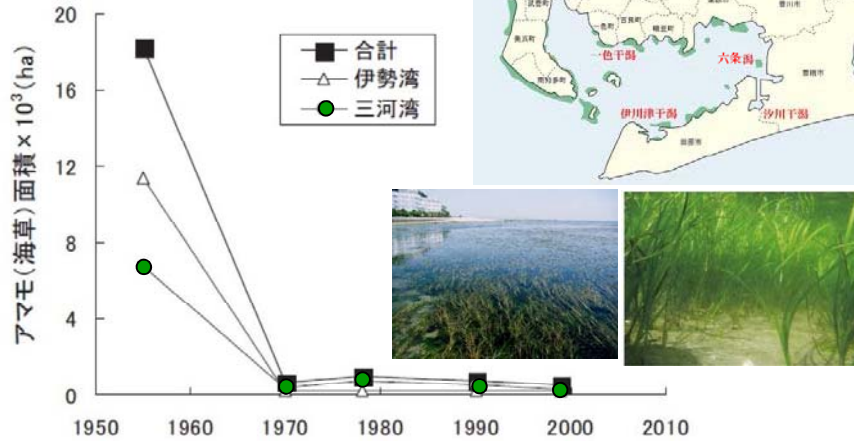


(注) 1978年より前の面積と1978年以後の面積では、調査方法が異なるため、単純に比較できない。

出典：Mikawaデータベース、伊勢湾再生海域推進プログラム(伊勢湾再生海域検討会)

6

(4) 藻場 (アマモ場) の状況



出典: Mikawaデータベース、伊勢湾再生海域推進プログラム(伊勢湾再生海域検討会) 7

(5) 水産業の状況

愛知県の水産業は、生産量で全国第19位(2009年)
多くの魚種が全国有数の生産量を誇り、沿岸を中心とした特色ある水産業が営まれている。2011年は全国順位は次のとおり。

アサリ類: 全国第1位(シェア57.7%) ①愛知 ②静岡 ③三重
シラス: 全国第3位(シェア 9.4%) ①兵庫 ②静岡 ③愛知
クルマエビ: 全国第3位(シェア13.0%) ①愛媛 ②大分 ③愛知

漁獲量の状況

1	漁獲量の主体であるプランクトンを餌とする魚種(イワシ類、イカナゴ等)	増加もしくは横ばい傾向
2	1の魚種を捕食するスズキ、雑食性のクロダイ等	増加もしくは横ばい傾向
3	内湾の底層を主な生息域とするカレイ類、エビ類、ガザミ類、シャコ等	1980年以降大きく減少
4	海底に定住するアサリ類以外の貝類(トリガイ、アカガイ等)	大きく減少

(注)アサリ類は漁業者が増殖活動を行っており、減少はしていない。

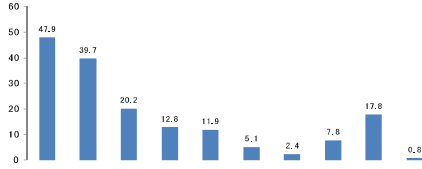
8

(6) 県政世論調査

三河湾のイメージについて

「海水浴や潮干狩りなどができる親しめる海」と「魚介類など海の恵みをもたらしてくれる豊かな海」が高く、いずれも年齢が高い層ほど高い値を示している。

その一方、「水質が悪くよれた海」「あまり親しみを感ぜられない海」という項目では年齢が低い層ほど高く、若者は三河湾に対して良いイメージを持っていないことが窺われる。

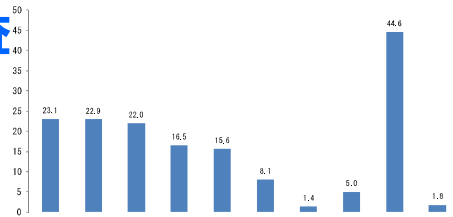


	男性	女性	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域	自営業	勤め人	無職
海水浴や潮干狩りなどができる親しめる海	43.5	51.4	29.1	36.6	49.4	53.5	55.3	56.7	49.9	44.5	53.7	47.9	43.5	47.2	50.7
魚介類など海の恵みをもたらしてくれる豊かな海	41.8	38.3	23.4	26.0	30.8	43.0	50.9	61.3	42.0	36.1	39.3	50.9	44.7	35.4	44.6
水質が悪くよれた海	23.9	17.5	18.9	25.3	26.6	20.6	11.1	15.2	14.2	17.8	32.9	23.9	17.4	23.5	16.3
水質が良くきれいな海	13.7	12.1	5.7	3.7	5.9	12.5	20.4	28.4	12.3	12.1	10.2	22.1	16.1	10.6	14.7
あまり親しみを感ぜられない海	15.5	9.3	15.4	14.3	11.5	13.1	8.8	8.9	9.6	13.5	12.5	11.0	12.4	13.4	10.0
魚介類があまりとれない海	6.4	4.2	3.4	3.3	5.0	6.4	4.9	6.4	3.9	4.1	8.0	7.4	5.6	5.0	4.9
その他	2.7	2.1	1.7	2.9	2.1	2.6	4.0	1.1	1.1	2.6	4.2	1.8	5.6	2.2	1.8
興味が無い	8.5	7.3	15.4	8.4	10.9	5.5	5.3	3.5	7.0	10.2	5.8	3.1	9.9	8.4	6.4
わからない	13.2	21.2	27.4	25.3	16.0	12.5	18.6	12.8	20.8	20.9	9.3	11.7	14.9	16.7	20.1
無回答	0.7	0.5	0.0	0.0	0.6	0.6	0.4	1.8	0.7	0.6	0.0	1.8	0.0	0.0	1.5

(6) 県政世論調査

三河湾の環境問題の認知度について

三河湾の環境問題の認知度では、「わからない」と答えた人の割合が44.6%と最も高く、年齢が低い層ほどその回答が多く、低い層の関心の低さが窺われる。



	男性	女性	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域	自営業	勤め人	無職
加害者がいる	24.5	22.1	18.9	21.6	22.5	26.7	19.9	26.2	20.8	19.7	30.7	30.1	21.1	24.6	21.6
被害者がいる	28.4	18.9	9.7	12.9	20.1	20.3	31.4	41.1	23.4	19.7	26.2	30.1	29.8	21.5	23.6
被害者がいるが被害が少ない	26.0	19.1	16.0	18.7	21.9	24.4	15.5	31.6	21.7	18.2	27.5	30.1	27.3	22.4	20.3
被害者がいるが被害が少ないが被害の程度が低い	20.3	13.8	10.9	10.3	12.1	19.5	20.4	25.2	13.3	14.8	20.1	27.0	24.2	16.1	15.2
被害者がいるが被害が少ないが被害の程度が低い	20.6	12.0	6.9	13.2	15.7	17.4	17.3	19.9	12.9	13.9	21.4	20.2	18.0	16.4	14.0
被害者がいるが被害が少ないが被害の程度が低い	9.0	6.8	4.6	4.0	5.6	6.7	9.7	17.7	7.9	8.2	6.7	11.0	11.8	6.7	9.1
被害者がいるが被害が少ないが被害の程度が低い	1.3	1.5	1.1	1.1	0.6	1.5	2.7	1.8	2.2	0.6	1.6	1.8	1.9	1.2	1.6
被害者がいるが被害が少ないが被害の程度が低い	6.5	4.0	10.9	5.1	8.0	3.5	3.1	1.4	5.3	6.3	3.5	2.5	6.2	5.8	3.6
わからない	36.3	50.8	56.6	56.0	45.0	43.3	43.4	28.4	47.0	49.9	38.3	27.0	36.6	44.6	47.0
無回答	1.7	1.6	0.6	0.0	1.2	2.0	3.2	1.7	1.3	1.7	1.3	3.1	1.2	0.7	2.8

3 環境再生のための施策

2012年度から
三河湾環境再生プロジェクト
—よみがえれ！生きものの里“三河湾”—
 県民、NPO等、市町村及び県が一体となつて、三河湾の再生に向けた取組の機運を高めるため、各種啓発事業を展開している。

- ① NPO等の活動支援
- ② 里海再生に向けた調査活動
- ③ 生物多様性について学ぶ機会の提供
- ④ 他県の活動を踏まえた学習機会の提供

三河湾里海再生プログラム

2011年3月策定

<主要施策>

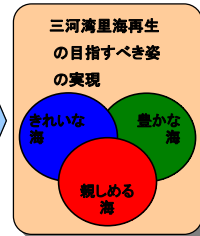
- ① 三河湾における干潟・浅場の造成
- ② 干潟・浅場及び海域のモニタリング
- ③ 干潟・浅場・藻場の保全活動の支援
- ④ 干潟・浅場等を通じた里海に関する啓発

<関連施策>

- ① 深掘跡の埋め戻し、浚渫及び覆砂の継続実施
- ② 局所的環境悪化水域の環境修復
- ③ 流入負荷削減対策の継続実施

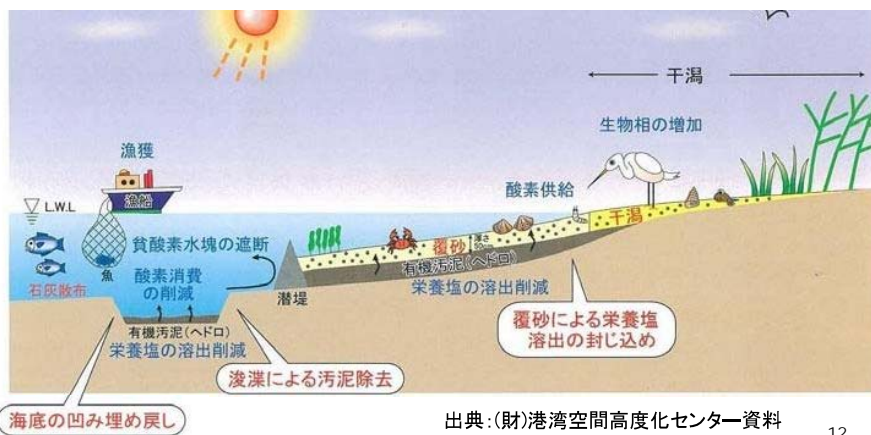
<他組織との連携>

プログラム
 に基づく
 事業の推進



海域における環境改善事業

- 残された干潟・浅場・藻場の保全
- 失われた干潟・浅場・藻場の再生
- 覆砂及び浚渫、深掘跡の埋め戻し



出典：(財)港湾空間高度化センター資料

6 干潟・浅場の造成のための主な課題

干潟・浅場・藻場の造成及び保全をより推進するための方策

干潟浅場造成の当面の目標 600ha

【事業実施にあたっての主な課題】

- ・良質砂の確保
(矢作ダム の堆積砂の利用、海域内および流域圏内での発生土砂情報の一元化、土砂仮置き場の確保など)
- ・費用対効果の検証及び事業費(特に砂の輸送費)の確保
- ・造成場所の選定とスピードアップ
- ・漁業者や県民などの理解

これらの課題を少しでも解決する方策(「各構成員で出来ること」「既に行っていること」「新たなアイデア」)や各種連携ができる事業がありましたら、事務局まで連絡をお願いします。

13

6 認知度の向上のための主な課題

県民に三河湾に関心を持ってもらうための具体的な方策

【主な課題】

- ・三河湾の環境問題についての認知度が低い(特に若者)
- ・三河湾に触れる機会・場所が少ない
- ・海に縁の少ない人が、海の現状を知るすべがない。
- ・三河湾のイベントの情報を得ることが出来ない。 など

これらの課題を少しでも解決する方策(「各構成員で出来ること」「既に行っていること」「新たなアイデア」)や各種連携ができる事業がありましたら、事務局まで連絡をお願いします。

14